

～出会いに感謝して～ 大切な繋がりが

まがたま

令和5年 5月 第137号
社会福祉法人上口福祉会
障害者支援施設まがたま
〒699-0201
松江市玉湯町玉造1649-2
TEL0852-62-2535
FAX0852-62-2586



イラスト：石田

まがたまが開設して36周年を迎え、3年ぶりにご家族様、評議員・理事のみなさまをお招きしての式典となりました。久しぶりということもあり、ご利用者様とご家族様の再会でも、楽しくお話をされている場面、たくさん笑顔を見ることができ、とても嬉しく思いました。



(行事委員長 黒崎満)

理事長もご利用者様及びご家族様から選ばれる施設に、又、利用してよかったですと言っていただけ施設にしたいとの一心でやってまいりました。挨拶で述べました。我々まがたま全職員もその想いであります。ご利用者様、ご家族様、職員、そして地域と共に今もこれからもみなさまから必要とされ、ご利用者様、ご家族様が安心して利用され、そして愛される施設を目指して参ります。



まがたま開設36周年記念式典を広報委員として写真・動画撮影しながら参加しました。式典の中では、今年度から当事業所を利用される新しい利用者様、新規職員、今年成人を迎える利用者様の、歓迎とお祝いのセレモニーがありました。お昼からはお弁当を食べながら、フラダンスと歌で楽しませました。最後は音楽療法士の金築先生とのコラボで書道パフォーマンスで素敵な作品が出来上がりました。今日からまた、新しい一歩を踏み出します。

(副班長 今井宏幸)

努力の結晶 定年を祝して



生産活動班 八幡 秀政



生活支援員 佐々木 信一

退職、まだまだ先の事。仕事、当たり前。今日までずっとそう思ってきました。ところが一転、退職年度を迎えた昨年、迫る人生の転機に、先の見えない不安に危惧の念を抱いておりました。そんな気持ちの中、斎藤施設長より継続雇用のお話を頂きました。再びまがたまの利用者様や職員様とのご縁を頂くことに感謝し、改めて働かせて頂くことへの喜びと幸せを実感しました。みなさま方への足を引かぬよう、そして明日から気持ちを新たに、微力ではありますが力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。(生産活動班 八幡秀政)

平成24年7月に入社してから11年、生活介護やグループホームで働かせてもらい、班長やサービスマネジメントの勉強もさせて頂きました。また、理事長、施設長のご指導や、協力していただいたみなさまのおかげで無事定年を迎える事ができました。この11年、自分自身を振り返ると、とても頭がテカッとして、残り少ない髪も真っ白になりました。ですが、まだ元気なうちは輝き続けるまがたまの一員として頑張っていければと思います。まがたまで目標としていた定年を迎えられて嬉しく幸せな気持ちです。本当にありがとう、ございました。これからも宜しくお願いします。(生活支援員 佐々木信一)

新風巻き起こす年



施設長 斎藤浩士

今年、まがたまの開設36周年の記念式典を3年ぶりに開催することができましたことに心より感謝申し上げます。この3年間は、新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックになり、様々な制約が課せられ、それまで当たり前と思っていた自由と豊かさのありがたさをしみじみと感じた3年間でした。また昨年はまがたまでは2度、クラスターを経験し、ご家族のみならず、改めてお詫び申し上げます。新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられましたが、不安や危惧することはたくさんあります。

ですが、いつの時代も人類は経験を智慧に変え、努力を重ね、困難を乗り越えてきました。大切なことは恐怖心を払拭し、未来は明るい、と強く信じて明るく前向きに行動することだと思っています。まがたまの職員が事業理念を共有し、自己研鑽に励み、協力し合いながら温もりのある施設を目指して頑張っていることを誇りに感じています。失敗もたくさんありますが、その中から教訓を得て一歩前進を心がけています。季節は5月、渡りの時期になりました。コシアカツバメが今年もぎやかに飛び回っています。コシアカツバメの巣をスズメが狙っています。先日、近くの田んぼに迷い込んでいたコウノトリ、早朝に目撃情報がありました。新居を構えたのでしょうか。私たち職員もお互いが愛し合い、睦み合い、信じ合い、5月の風のように爽やかに吹き渡っていきたいと思います。これからもどうか指導のほどよろしくお願いたします。

苦情受付

今回は苦情が1件ありました。まがたま生活介護のご利用者様のご報告がありました。事実確認を行い、ご家族様に謝罪とご報告をしました。今後、みなさまからの苦情やご要望を真摯に受け止め、安心安全な施設づくりに努めて参ります。

編集後記

今年度も広報委員としてイラストを担当することになりました。見つけてもらえたでしょうか？と描いていると単調になりがちなので色々工夫しながらやっています。まだ寒暖差が大きいですが、風邪をひかないよう気を付けてお過ごしください。(石田裕雅)

当広報に掲載された写真につきましては、プライバシーに配慮し、予め掲載の同意を得ています。



QRコード
松岡隼矢 松浦洋治 石田裕雅 小室唯奈 土江和輝
錦織優気 桑原奈々 松本啓介 今井宏幸



晴天、悠々と

青空を飾る風物詩

毎年5月になると、トマトハウス、放デイの前には、利用者が泳ぎます。晴れた日には、利用者様と一緒にこのほりを見ながら散歩をしました。青空を優雅に泳ぐ美しいこのほりにみなさんが魅了しておられます。

さて、このほりには、人生で遭遇する難関を鯉のように突破して出ているという願いが込められていて欲しいという願いが込められています。まがたまの利用者様も職員もこれまでさまざまな難関と一緒に乗り越えてきました。

昨年度も、コロナウイルス感染症が流行したため、まがたまでもクラスターが発生しました。その時、皆で一丸となり予防対策と対応に努め、何とか無事に重篤者がおらずに済みました。

今年度も、このこのほりに願いを込め、みなさんが笑顔で元気に楽しく過ごす事が出来ますようにと祈るとともに、職員一同が難関に立ち向かい乗り越えて行こうと思います。

(広報委員会 小室唯奈)



～笑い払う「端午の節句」～

給食便り

5月5日は端午の節句です。男の子の成長を祝うこの日は、関東と関西で食べるお菓子に違いがあります。関東では「柏餅」、関西では「ちまき」を食べるそうです。

ゲン担ぎとして縁起のよい魚を食べることもありカツオ、ブリ、スズキなどがその代表です。カツオは、本来は「鯉」ですが、当て字をすれば「勝男」です！ブリ、スズキは「出世魚」ですね。勝負に勝つ男に育って欲しい！立派な大人になって欲しい！という親心が込められていますね。

さて、今回のメインはオムライス、副菜にエビフライと、大人のお子様ランチのようで、どの世代でも楽しめる献立になっています。施設でもたくさん鯉のほりが風にふかれて泳いでいます。季節の行事を楽しめる時間になりました！

(管理栄養士 川西美希)

大自然を生きかして

新たな挑戦！

人と自然に恵まれたこの地で今、生産グループはじめ班が新たな活動環境整備によって、伐採した木々の中から、クヌギやナラの木を使って、「原木しいたけ」の栽培への挑戦が始まりました。

ホダ木に職員が穴を空け、利用者の皆さんがそこへ、種となる駒菌を打ち込んでいきます。青空と大自然の中で、「コンコン」と心地よい音が響いています。

利用者様お一人ひとりの「自分らしさ」を生かし、「やりがいと生きがい」に繋がるよう、皆で歩んでまいります。



(課長 松本啓介)

芽吹く季節

春と言えば草木が芽吹き、花を咲かせる季節です。まがたま駐車場付近には噴水、東屋、そして花壇を設けており、利用者様、職員にとつて癒しの庭園のようになっております。その花壇に、春の代表的な花のチューリップを植えました。

チューリップは花の色や、プレゼントする本数によって、意味が変わる、ロマンチックな花です。全般的には「博愛」を意味するそうです。誰にでも、植物にも愛をこめて、毎日を送っていきたくです。

(広報委員会 松岡隼矢)



憩いの花壇

～癒しの香りに包まれて～



春日和の中で、半年をかけて、小さな棟玄閣横の芝生スペースが生まれ変わり、小さな小さなまがたまハーブ園が完成しました。

ウッドデッキが設置され、木を植えたり、手作りの花壇を創り、ラベンダーを植えました。植物への知識が全くない私でしたが、今回のハーブ園創りを通して、植物に興味を持つことができました。

これから、天気の良い日に利用者さまと一緒に散歩に出掛け、ウッドデッキでおやつを食べたり、コーヒーを飲んだり、お話しをしたり等、優雅な時間を過ごしたいなと思っております。

また、利用者さまと一緒に水やりや草取りなどを通して、自然と触れ合いたいです。

(環境美化副委員長 黒崎由衣)

時代を築く

仲間たちと、これから

永年勤続15年表彰職員

新入社員職員

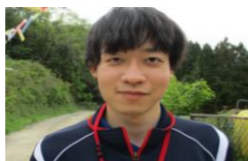


「まがたま」で勤めさせていたでいて、あつという間の15年でした。

色んな意味で、職場環境に恵まれていたことが、一番大きな理由ではないかと思えます。

これからも、よりよい支援ができるように努力していきたく思います。

(班長 堀尾和男)



今年度からお世話になります。土江和輝と申します。専門学校で学んだ知識が技術を活かして利用者様に楽しい生活を送ってもらえるよう頑張ります。

一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

(土江和輝)



長く勤められたのは自分の力だけではなく、周りの方々の支えがあったことと感謝の思いを抱いています。ありがとうございます。

(野島靖広)



私は愛媛にある専門学校で、社会福祉士に関する知識を学んできました。介護に関しての知識はあまりありませんが、学校で学んだ相談援助の知識も活かして頑張っていきたいと思えます。

(窪田晴斗)



過ぎ去った長い年月を振り返って見て、表彰に値するような功績は何一つとして思い当たりません。ただ与えられた仕事を一杯やり遂げることが出来たのも、皆様のおかげだと思っております。ありがとうございます。

(小竹健介)



今年度からまがたまに入社しました。石原千寛です。利用者さまがより良い生活を送ることのできるよう日々勉強していきます。

精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。趣味はゲームをすることです。

(石原千寛)